

エコアクション21

2024年度

環境経営レポート



活動期間

2024年01月01日～2024年12月31日



株式会社 集 組

作成日 2025年01月27日

目 次

I.	組織の概要	· · ·	P 1
II.	環境方針	· · ·	P 2
III.	実施体制	· · ·	P 3
IV.	環境目標	· · ·	P 4
V.	環境活動計画と評価及び次年度の取組内容	· · ·	P 5
VI.	環境目標の実績	· · ·	P 6
VII.	当社の取組み	· · ·	P 7
VIII.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	· · ·	P 8
IX.	緊急事態の想定及び対策	· · ·	P 9
X.	代表者による全体評価と見直し結果	· · ·	P 10

I 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 集組 代表取締役 高村 和秀

2. 所在地

本社事務所 … 静岡県沼津市岡宮字松沢台946-1
工事現場事務所 … 受注現場

3. 環境管理責任者・事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 … 高村 泰佑
事務担当者 … 杉本 篤哉
連絡先 … TEL 055-921-3520 · FAX 055-921-3522
E-mail tudioi@tudoigumi.jp

4. 事業活動

公共土木工事施工

特定建設業

許可番号………静岡県知事許可(特-03)第657号

建設業の種類…土木、とび・土工、石、鋼構造物、
ほ装、しゅんせつ、塗装、水道施設、解体

5. 事業規模

活動規模	2022年	2023年	2024年
売上高	7億9641万円	16億8604万円	12億8955万円
従業員	20人	19人	17人
床面積	350m ²	350m ²	350m ²

6. 事業年度

1月1日～12月31日

7. 認証・登録の対象範囲

活動：全事業活動

対象組織：本社事務所及び工事現場事務所

II 環境方針

【環境理念】

株式会社集組は、公共土木工事及び海洋土木工事を施工する事業活動に於いて自然環境に及ぼす影響を強く認識し、常に環境の保全を意識した環境経営を進めることにより、資源循環型社会の構築に貢献します。

【基本方針】

株式会社集組は、環境理念に基づき、環境経営システムを構築し以下の基本方針を定め、継続的な活動を展開します。

- ① 二酸化炭素排出量の削減に努めます（電力使用量及び化石燃料の削減）
- ② 廃棄物排出量の削減と再資源化に努めます
- ③ 総排水量削減に努めます
- ④ グリーン商品の購入を推進します
- ⑤ 自らが施工する建設工事は環境に配慮した施工を推進します
- ⑥ 環境関連法規を遵守します
- ⑦ 全社員に環境意識の向上を図り周知徹底を図ります
- ⑧ 環境レポートを公表し社内外に環境情報を提供します

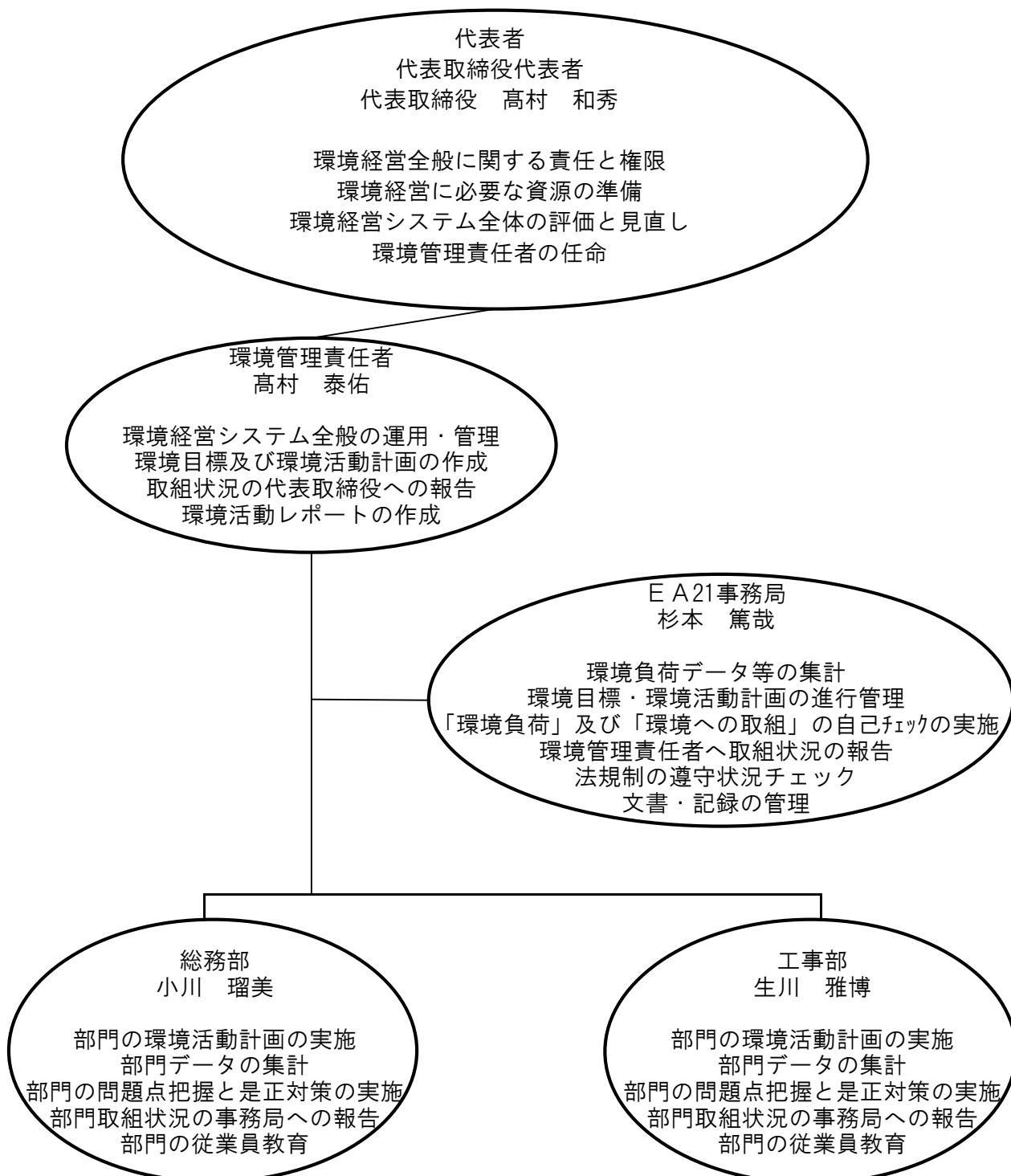
制定年月日 2025年02月26日(第2版)

株式会社 集組

代表取締役 高村 和秀

III 実施体制

2025年1月27日 現在



その他の従業員は、自分の役割を守り「エコアクション21」活動を推進する

IV 環境経営目標

環境目標は2022年（令和4年）を基準年とした基準年比を示す

項目	単位	2022年 (基準年)	2024年 (R06年)	2025年 (R07年)	2026年 (R08年)	2027年 (R09年)	2028年 (R10年)
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ²		-2%	-3%	-4%	-5%	-5%
		107,291	105,145	104,072	102,999	101,926	101,926
電 力	k W h	109,250	107,065	105,973	104,880	103,788	103,788
ガソリン	L	22,351	21,904	21,680	21,457	21,233	21,233
軽 油	L	1,648	1,615	1,599	1,582	1,566	1,566
灯 油	L	877	859	851	842	833	833
LPガス	k g	55	55	55	55	55	55
廃棄物 排出量	建設混合廃棄物	t	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9
	一般廃棄物	k g	107	105	105	105	105
総排水量	m ³	43	43	43	43	43	43
環境配慮工事の提案	件	6	8	9	10	10	10

※電力 二酸化炭素換算係数：0.443kg/co2 東京電力 2022年度

V 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(評価期間は2024年1月～2024年12月)

VI 環境経営目標の実績

2022年（令和4年）をベースに
運用期間（2024年1月～2024年12月）の実績・評価を以下に示す

会社全体合計	項目	単位	2022年度 (令和4年度) 実績	2024年度 (令和6年度) 目標	2024年度 (令和6年度) 実績	削減率	評価	
	二酸化炭素総排出量（全体量）	kg-CO ₂	107,291	105,145	61,345	-42 %	○	
	目標値	電 力	kWh	109,250	107,065	42,890	-60 %	○
		ガソリン	L	22,351	21,904	15,802	-28 %	○
		軽 油	L	1,648	1,615	1,484	-8 %	○
		灯 油	L	877	859	691	-20 %	○
		LPガス	kg	55	55	44	-20 %	○
	廃棄物排出量	建設混合廃棄物	t	3.1	3.0	4.7	57 %	×
		一般廃棄物	kg	107	104	105	1 %	×
水使用量		m ³	43	43	38	-12 %	○	
環境配慮工事の提案		件	6	8	8		○	

※電力 二酸化炭素換算係数：0.443kg/co2(東京電力エナジーパートナー) 2022年度

目標についての総合評価

	概ね目標は達成されており良好である。
廃棄物排出量について	建設混合廃棄物及び一般廃棄物が設定目標を越えてしまった。建設混合廃棄物については工事の内容、量によって変わってくるが、一般廃棄物においては限界地点にきており、現状維持の方向で目標設定する。

VII環境活動の状況

岡宮地内清掃活動



工事現場自治会内清掃活動



LEDライト交換



VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

2025年1月27日確認

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
建設業法	建設業者としての登録・更新	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路法 河川法 水道法 下水道法 海岸法 海防法	工事基準を遵守し各種申請手続きの適正処理	遵守
道路運送車両法	日常点検整備をしなければならない	遵守
オフロード法	適合証明を確認する	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用	遵守
資源有効利用促進法	土砂、コンクリート塊、アスファルト、コンクリート塊のリサイクル	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届け出書面作成	遵守
騒音規制法	指定地域における建設作業と届出	遵守
振動規制法	指定地域における建設作業と届出	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定	対策型建設機械の使用	遵守
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	対策型建設機械の使用	遵守
水質汚濁防止法	排水基準の遵守	遵守
土壤環境基準(環境基本法)	埋没廃棄物等により工事開始後の汚染判明、施主への通知	遵守
薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針	地下水質、排水の管理及び監視注入作業の注入圧、注入量の監視	遵守
セメント及びセメント系の固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領	国土交通省、農水省直轄工事 地盤改良工事セメント系固化材を使用する	遵守
地下水環境基準(環境基本法)	工事開始後の異臭、地下水等の発生により汚染判明、施主への通知	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵と取扱い、届出	遵守
電気事業法	専門業者に委託し、法定自主検査の実施	遵守
建設工事公衆災害防止対策要綱	規制を遵守する	遵守
県環境基本条例	規制を遵守する	遵守
グリーン購入法	商品リストを作成し、グリーン製品の購入に努める	遵守
フロン排出抑制法	定期点検・簡易点検の実施、廃棄時は指定業者にて廃棄する	遵守
浄化槽法	定期点検・簡易点検の実施	遵守

2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

IX 緊急事態の想定及び対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に止めるこ

- ・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。

また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定パターン	想定される緊急事態	原因	対応策
	海洋への油の流出	給油作業中の油圧ホース破損	オイルフェンス設置、給水マット常備 油圧ホースの定期点検 吸着マット、油処理剤

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	訓練内容
2024年11月12日	油の流出	給油作業中の油圧ホースの破損	油の漏洩処理手順についての机上講習
参加者	高村泰佑、根上浩嗣、小澤道明		
評価と改善策	<ul style="list-style-type: none">◎オイルフェンスの海上での船舶によるえい航及び沿岸水域での係留についての講習◎油処理剤及び吸着マットで処理◎油処理剤は散布及び攪拌作業小型船舶機のスクリューを使用し攪拌作業をする		

X 代表者による全体評価と見直し結果

代表者による全体の評価と見直しを行った結果は次の通りである。

見直し実施日	2025年1月27日	見直し者	社長
収集した情報	<p>①環境経営システムの運用状況 ②環境活動計画実施状況及び周知状況 ③外部とのコミュニケーションの状況 ④部門別責任者の意見及び記録表を確認をもとに、環境管理責任者が社長に報告した。</p>		
評価の内容	環境経営システムの運用状況確認、目標を達成しているか確認、苦情違反等の有無の確認		
社長の評価結果	<p>①環境経営システムの運用状況 集計もできており、機能している。 ②環境関連法規の違反等もなく、集計、活動等も実施されており、周知されているものと思われる ③ボランティア活動、環境に対する提案、対策もされており、良好と思われる。 ④目標について、今回は概ね目標達成しているが、目標達成できなかった廃棄物の削減に、努力し、環境活動を継続してほしい。</p>		
環境方針、目標、計画等の変更の必要性の判断	環境方針、計画などの変更の必要はないと思われるが、L E D化等、化石燃料の削減のための施設投資等の努力はこれからも進めて行きたい。目標値については活動も10年を迎える限界まで来ている項目も散見されるので、現状維持などの対策をしていきたい。		
環境管理責任者への必要な指示	今回、目標未達成の項目も多くあり、環境目標、方針に対する意識をもう一度見直し、社員一人一人の環境に対する意識の向上を望む。		

株式会社　集　　組
代表取締役　高村　和秀